

総務文教常任委員会視察報告書

令和6年12月16日

総務文教常任委員会委員長 齋藤貴士

令和6年11月11日から12日にかけて実施した総務文教常任委員会視察につきまして次の通り報告いたします。

1. 愛媛県宇和島市

浅口市では情報発信において、ライフビジョン・LINE・メールなど複数あるが宇和島市では様々な分野をひとつのアプリに集約した情報発信について、調査・研究した。

公式アプリ「伊達なうわじまホッとナビ」について説明を受けた。

緊急時の支援情報、宇和島の魅力や生活に便利な情報などを

観光モード…宇和島の観光スポットやイベント情報の発信

防災モード…集中豪雨や南海トラフ大地震などが起こった場合の避難活動を支援

健康モード…ウォーキングを主軸にした健康づくりを推進（うわじま歩ポ）

子育てモード…子育て世代に嬉しい情報の発信

マリッジモード…婚活からご成婚後まで宇和島市の結婚支援情報の発信

ポイントモード…宇和島市電子地域ポイント RUCPOINT アプリ

「モード」による使い分けで非常に見易く活用しやすいものであった。

人口の約半数にあたる数のインストール数があるということで、特に防災については緊急時の危機管理の意識が感じられた。

防災支援情報として、AEDの設置場所や避難所への経路ナビ機能、防災・減災の学習機能も備えており平時における利用促進もしていた。

ポイントモードの電子地域ポイント RUCPOINT（ラックポイント）と名付けられた地域通貨で、地域活動に参加することでポイントを貯め、貯まったポイントを市内の店舗で使用するという斬新で面白いものであった。

健康づくりの促進、環境活動の促進、安全・安心な地域づくりの促進、地域社会活動の促進、地域の課題解決や活性化に寄与する活動の促進をポイント付与の活動としている。

また、認定団体として承認を受けることでポイントの付与対象となる活動を、主体的に実施することが可能になる。自治会に加入している世帯に対し、一世帯当たり500円相当のポイント進呈することで自治会加入促進にも図っていた。地域での利用拡大をすることで、課題解決・活性化に繋がっていると思う。

非常に素晴らしく魅力的なアプリであり、浅口市においても取り入れたい部分が多くあると感じた、勉強になる視察であった。

2. 香川県高松市

「スマートシティたかまつ」の取組みについて視察した。

全体の DX を進めることで誰もが、どこからでも利便性を享受できるということで

- * 多様な主体の出会いと協働を促進する仕組みづくり
 - * 誰もがデジタル社会の恩恵を享受できる環境整備
 - * 市民ニーズに応じた行政サービスの効率的な提供
 - * 持続可能で魅力的なまちづくり
- を、柱に運用しているようだ。

防災分野においては、災害の発生が比較的少なく、市職員が災害対応の経験を積んでいないことや、都市機能と海との近さが仇となり、広範囲に被害が活性する危険性があるなど浅口市と同じ課題を持っていると感じた。

リアルタイムデータとしては、水位・潮位センサーに加え、カメラ（静止画）画像による状況把握もできるようになっており、災害リスクが見える防災アプリとなっていた。

また、「たかまつマイセーフティマップ」ではレンタサイクルに GPS を取り付け、利用動態から外国人観光客の動態を分析し、高松を訪れる観光客の満足度向上や、新たな観光資源を活用した観光施策の展開に活用していた。

福祉分野の取組みとしては、高齢者見守りへの ICT 活用として、呼吸や心拍数等のバイタル情報が把握できるウェアラブル IoT 機器を開発し、地域包括ケアシステムの構築を図っていた。

2日間の視察を終え、大変勉強になったと思うが、このことをいかに本市でうまく取り入れることができるか、本市の地形や課題とも合わせて研究していきたい。



宇和島市



高松市